

カー用品専科・月刊誌

春の新作、その見どころを直送!

[カーグッズマガジン]

Since 1999

www.cargoodsmagazine.co.jp



# Car Goods Magazine



簡単でも本格派

## 2025年はコレが来る!



愛車防犯の

## 真打ち、登場!



高級の概念を刷新

## 着座環境 EVO

エボリューション!



## 光バラエティ

リモートで制御

リサイクル新変化

## もっちり新触感



あれもこれもすべて!

## 車内空間をまる洗い

プロ現場より直送

## タフな電気助っ人



消臭もアロマも!

## 空気もプレミアムに

[新製品特集]

## 次なる狙い目をロックオン!

# 用品市場 時事通信

[2025年=春版=]

除電という性能向上



座面に導電性表皮材を装備。これによって、車体や電装品そしてドライバーの帯電をタイヤから放出しクルマ全体の基本性能を回復させる。

**除電でポテンシャルアップ**  
このモデルはGR 86、GRヤリス、GRカラー専用シートとして、レーシングドライバーの佐々木雅弘氏がスポーツドライビングとストリートでの快適性にこだわって開発された。いずれの仕様も座面高が純正位置よりマイナス20mmとなるスポーツシートで運転席、助手席ともに設置が可能。スポーツ走行における高いホールド性を確保するべく、標準的な日本人体型に合わせてセッティングされているのも特徴だ。

またバケットシートでありながら、リクライニングが可能という点は、ストリート用としては見逃せないポイントでもある。そしてさらに注目なのが、導電性表皮材を用いた除電スタビライジング機能を持たせ走行性能を



驚きの

性能!!



フルバケット形状なのにシートが倒れる!!

フルバケット形状にリクライニング機構を搭載させたシートなので、ストリートユースでも抜群に便利で快適。

GR TOYOTA Gazoo Racing  
× GROW Design  
**AERO STABILIZING  
SPORT SEAT**  
価格：41万8000～46万2000円  
株式会社タカマコンペティションプロダクト  
<https://takama-cp.co.jp>

カーボンシェルによる軽量構造とともに、極めて高いホールド性を示すフルバケット形状のスポーツシート。それだけでない魅力が、リクライニングを備えることだ。

ブリッドでも導電性表皮材をオプション品として設定予定



このほど、本誌紹介の除電スタビライジング機能を採用したシートの発売とともに、この導電性表皮材をブリッドのオプション品として設定予定。車体の除電をすることで、空力性能だけでなく、電子機器の正確作動、ハンドリング、乗り心地の改善も実現できるという(機能の詳細は83ページを参照)。

なんと走行性能を高めるシートの登場!!

高めることができるということだ。トヨタ車両に搭載されてきたが、市販製品に採用されるのは今回が初となる。

ヌグレが拓く  
新素材の扉

まとめ: 松永大演 写真: 前田恵介

**機能性は本革を超える!?**  
ブリッドのシートと言えば、レーシングやスポーツシートの老舗であるが、骨盤を立ててしっかりとサポートするエルゴノミクスシートであることにも注目されている。そしてこのほどエルゴスターにヌグレ(NUGRAIN)という高級合皮素材を採用したシートを今春リリース予定だ。

滑らかな  
触感が  
グッド!



ヌバックであれば撫でる方向に跡がつくが、ヌグレにはその特性は皆無。触感はそのままに常に安定した見栄えを保つことができる。



シートバック調整はレバー式

シートバックの角度調整はレバーを操作するタイプ。注目なのはレバーの長さで、力を入れずに操作が可能。また乗降に邪魔にならない配慮もニクイ。



BRIDE  
**ERGOSTER  
NUGRAIN**(仮名称)

価格：未定  
@ブリッド ☎052-689-2611  
<https://bride-jp.com/>  
スポーツシートでありながら、ラグジュアリーな雰囲気をも併せ持つモデル。

新たな高級素材の誕生



しっとり感もありさらっとした素材のほのかな模様は、塗装工程で醸成される。つまり、自由に色付けができるのも魅力だ。

最近ではエンカルの観点から、本皮革の使用を調整する動きも出てきている。その中で大きく注目されているのが、合成皮革だ。このところの質感の向上が注目され、海外、日本を問わずに合成皮革を採用するクルマは増加している。そしてこのヌグレは、素材メーカーでもあるアキレス社が推進の製品で、ヌバックのような起毛の

触感を実現したもの。ヌグレの特徴はメンテナンスが楽で防汚加工ができる点にもあり淡色系も設定可能。また、使用部位に合わせての伸び特性の調整ができるというメリットがある。そのため、シートとして採用した場合に、本革素材に極めて近い風合いと触感、座り心地が実現できた上質な製品だ。



NEW

# BRIDE Konforte Racing

〈15ヶ月から使えるジュニアシート〉

- 商品名:ブリッド・コンフォルテ・レーシング
- カラー:ブラック ●品番:BRCH05 ●JANコード:4903536220071
- 対象年齢(めやす):15ヶ月(かつ身長76cm以上)~12歳頃
- 対象身長:76cm(かつ月齢15ヶ月以上)~150cm
- 取付方式:ISOFIX+トップテザー(チャイルドモード時)、ISOFIX+3点式シートベルト(ハイバックモード時)、3点式シートベルトによる固定(ハイバックモード時)
- 本体サイズ:W445×D530×H630mm ※ISOFIXコネクター含まず
- 材質:本体(PP、ウレタン) カバー(表/ポリエステル、裏/ウレタン)
- 重量:11.0kg ●付属品:肩パッド2セット入り(ブラックとレッド)
- 価格:¥55,000(税込)



汚れやすいパッドは取り外し可能なウッシュャブル。※ブラックとレッドの2セット。

レーシングシートをモデルにしたモノコックボディのフォルムにより、ディープなホールド性を実現。150cmの身長にも対応した、史上初のブリッドジュニアシート、コンフォルテ・レーシング。新登場!!

- ホールド性を追求したモノコックボディ ●蒸れにくい立体メッシュ生地採用 ●長期使用にも安心の耐久設計
- 安全な着座姿勢をキープする背座 体厚リクライニング(5段階) ●カバー類は簡単に取り外して洗えます

## Car Goods Tasting



### 導電性表皮材 カブロンST

導電性表皮材のカブロンST。こちらはサンプル品で、通常のシートの上に設置することでその効果が確認できるもの。

### 静電気を追い出せ!

冬の時期は特に、クルマに乗り込むときに「ビリッ!」とくる人もいるはず。そう、静電気の仕業なのだが、静電気の悪さはそんなもんじゃない。クルマの基本性能にも悪影響を与えるのだという。実はその対策になんとトヨタが乗り出しているのだ!

## 「ビリッ!」を予防するだけが除電効果ではない!!

静電気を逃すといいいことばかり



導電性の実験。1000Vの帯電体を近づけると、0.1秒でわずか8Vに。このカブロンSTを設置しないと、100Vに降下するまでに20秒以上かかってしまう。



GR TOYOTA Gazoo Racing X GROW Design エアロスタビライジングスポーツシートは導電性表皮材を内蔵した初の市販シート。また、オプション品としてブリッドでも導電性表皮材の設定を予定している。

### 帯電を解消し 本来の性能を実現

クルマと静電気の帯電問題がトヨタで課題となり始めたのが、タイヤにシリカを使用するようになった頃から。シリカは電気を通さないことから、帯電が顕著になってきたのだ。帯電の影響は、例えば空力性能に現れる。空気中のイオンと反発し周囲の空気を乱してしまうのだ。また、電子制御の多い昨今では、制御の正確

取材に対応いただいたアキレス株式会社のみなさん。右から車輪資材事業部の廣川大輔副部長、梅村愛さん、工業資材事業部の市川宝課長、西島正敬課長。



性に影響を与えることもあるという。このことはタイヤ業界にも知られていて、シリカの配合されているタイヤには除電性能を持たせたライナーが装備されているほどだ。そして車体側でその対策に乗り出したのが、トヨタ自動車とアキレスだ。導電性表皮材を開発してシートに採用。ドライバーを介する除電スタビライジング機能を持たせることに成功した。そしてこの機能の採用は2021年のカローラの5000万台記念特別仕様車に始まり、クラウン、プリウス、センチュリーでは標準装備で採用されている。

### 除電表皮開発のアキレス

子供達の人気シューズ「アキレス」で知られるアキレスだが、実はPULゼラー、PVCゼラーが自動車のシートに採用されるなど、自動車産業にも広く参入している。加えて樹脂技術は多分野の製品を生んでおり、レスキューボートや非常用エアーマットレスやマットレス、またキャンプ用にも使用できる折りたたみマットレスなども製品化している。

### 水害避難用(捜索作業)用ボートDEIB-310



折りたたみマットレス



非常用エアーマットレス

アキレスウェブショップ <https://achilles-webshop.com/>

これにより、クルマの空力性能、動力性能、制動性能などの正確性が高まることを確認されている。そして現在では、GR X GROW Design エアロスタビライジングスポーツシート(P37参照)に採用。また、オプション品としてブリッドでも導電性表皮材の設定を予定している。確かに運転してみると、動作の滑らかさを実感することができ。これが不思議と電子制御の介在しない、サスペンションの動きにも感じられるのは興味深い。今後、除電対策はさらに拡大するものと思われる、ぜひとも注目していただきたいアイテムだ。